



『東北圏だより』



雪対策総合プロジェクトの推進について

山形県

山形県では、平成6年以来3次にわたる「山形県雪対策基本計画」を策定し、総合的な雪対策に取り組んできたところですが、平成23年・24年の2年連続の豪雪では、多数の死傷者が発生したほか、建物や農林水産の被害など県民生活に大きな影響を及ぼしました。

こうした深刻な事態を受け、本年4月に知事が本部長となり、県と市町村が一体となった「雪対策総合プロジェクト推進本部」を設置し、「雪対策基本計画」の見直しと新たな「雪対策行動計画」の策定に向けた検討を進め、10月にそれらを取りまとめました。

「雪対策基本計画」の見直しは、「豪雪は災害である」という認識に立ち、「雪と向き合い、雪に強く、安全で安心して暮らせるやまがた」づくりの理念のもと、新たに「豪雪時における災害対策、災害救助に係る体制の確立」という視点での対策等を追加するなど、豪雪を踏まえた修正等を行いました。

また、「雪対策行動計画」を新たに策定し、具体的な取組みとその推進工程を示しました。特に、県民の安全・安心に関連する分野については、「多数の死傷者の発生」への対応として、死傷事例の精緻な分析や児童・生徒に対する安全・防災教育の徹底、「地域の除雪力の低下」への対応として、地域における一斉除排雪の推進や地域内外の雪処理の担い手の育成など、豪雪で浮き彫りになった課題毎に具体的な取組みを示しています。

さらに、地域の実情にあったきめ細かな雪対策を推進することを目的として「雪対策総合交付金」を創設しました。この交付金では、要援護者への除排雪の支援、空き家の雪下ろしや除排雪、地域におけるボランティアの導入、樹園地の枝折れ被害防止のための作業道除排雪等、幅広く補助対象メニューを設定して、各市町村における効果的な事業展開が可能となるようにしています。

全国有数の豪雪地である本県にとって、雪が及ぼす県民生活への影響は極めて大きく、その対策は重要な課題であり、雪にしっかり向き合い、実効性のある雪対策を着実に進めていきます。



▲ 平成24年の豪雪の状況



▲ 平成24年の豪雪の状況

第6回東北発コンパクトシティ推進研究会を開催

東北圏の地方都市におけるコンパクトシティの考え方や、その実現に向けた取組手法について検討する「東北発コンパクトシティ推進研究会」（主催：東北地方整備局、後援：日本都市計画学会東北支部）を、10月3～4日に、新潟県長岡市内で開催しました。

本研究会は、各都市がコンパクトで持続可能な都市づくりを推進するため開催しているもので、当研究会で検討している「東北発コンパクトシティ」は、広域連携プロジェクトのうち「都市と農山漁村の連携・共生による持続可能な地域構造形成プロジェクト」の主要施策として位置付けられています。

第6回目となる今回は、① 地域資源の活用による都市住民等との交流の観点から「都市と農山漁村地域の連携による共生」、② 中心市街地の活性化に向けた土地利用および既存ストックの有効活用の観点から「街なか都市機能の強化」の2つのテーマを掲げ、学識経験者や自治体担当者など約90名の方々の参画を得て開催しました。

初日は、長岡技術科学大学副学長中出文平氏より、「広域合併を果たした長岡市のコンパクトシティ戦略」と題して基調講演をいただいた他、2つのテーマに関する取組として、滝沢村、十日町市、長岡市から事例紹介をしていただきました。その後、都市と農山漁村との連携のあり方や中心市街地の活性化について、全体で討論しました。

2日目は、長岡市における中心市街地活性化の取組箇所として、アリーナ、ナカドマ（屋根付き広場）、市役所が一体となった“市民協働・交流の拠点”となる複合型施設「アオーレ長岡」、中心市街地における大規模空閑地を活かし、消防本部、市民防災センター、防災公園等を有した防災拠点「長岡防災シビックコア地区」、長岡震災アーカイブセンターや市役所機能の一部等を有し“学びと交流の拠点”となる再開発ビル「フェニックス大手イースト」を見学しました。

↓研究会の詳細については、こちらをご覧ください。

<http://www.thr.mlit.go.jp/compact-city/>



▲ 推進研究会開催状況



▲ 現地見学（アオーレ長岡）

編集後記

10月下旬から東北地方整備局管内では、各地において除雪車出動式の話が聞こえてくるようになりました。併せて、紅葉も色づいたと思ったら、もう葉が落ち始めるようになってきています。更に、11月に入り、朝晩の冷え込みも一段と進んできており、各地の山々では初冠雪が記録されています。

今年もあと2ヶ月弱となりましたが、構成機関の皆様におかれましては、風邪など引かずに年末を迎えられますよう、御自愛願います。

『東北圏だより』に掲載する広域地方計画に関連する情報をお寄せ下さい。また、『東北圏だより』へのご質問、ご意見、ご要望等についても結構です。お気軽に次のアドレスまでメールでお寄せ下さい。メールアドレス：kou-suishin2@thr.mlit.go.jp